

# 第5学年 外国語科学習指導案

日 時：令和2年10月21日（水）公開授業1

場 所：5年教室

児童数：24名

指導者：熊谷 竜彦

JTE：矢後 千紘

1 単元名 Lesson 6 “My hero” あこがれの人をしょうかいしよう。（Junior Sunshine 5）

2 単元について

(1) 児童について

本学級の児童は、これまで3・4年生時に年間15～35時間程度、「Let's Try」を主教材として外国語活動を行ってきた。中学年での学習の下地があることから、英語を介したコミュニケーションに積極的に取り組む児童が多く、アルファベットや簡単な英文に対しての知識もある。そのため、今年度から外国語が教科となったことに特に大きく抵抗感をもつ児童は少ない。5年生の学習でも意欲ある面が発揮され、チャンツやゲームに楽しく取り組んだり、発表の際に積極的に覚えようとしたりする望ましい姿が見られる。しかし一方で、フレーズをただ暗記した発表に終わることや他者意識をもった表現力には弱さが見られ、より必要感をもった学習課題の設定が必要である。

(2) 教材について

今回学習する単元は、「Junior Sunshine 5 Lesson 6 “My hero” あこがれの人をしょうかいしよう。」である。本単元は、第三者を表す代名詞である he/she を用いて、自分があこがれている人（ヒーロー）について発表する単元である。紹介するヒーローは、スポーツ選手、歴史上の人物、家族、友達など様々な例が載っており、多様な視点でそれぞれのヒーローを考えられるよう工夫されている。また、大文字と小文字について定着を図ったり、大文字で書き始める時のルールを学んだりする等、文字に慣れさせるための学習も位置付けられている。

(3) 指導について

本単元における言語活動のゴールは、「中学生とのビデオレターによる交流」とした。中学生を相手とすることについては、自分達の英語がどの程度伝わるのかを試すこと、中学生に伝えるという他者意識をもたせることで課題である表現力を向上させる意味合いもある。また、クラスの友達同士の交流だけでなく、中学生の立場から見たヒーローを聞くことで、自分の目標やあこがれに関してより広い視野をもたせ、さらにはスピーチの質の向上を目指したい。

学習到達目標に関しては、単元のはじめに確認（どういった内容を学習するのか）を行い、単元の終わりにそれらについて振り返る（自分の達成状況の振り返り）機会を全ての単元で設定している。そうすることで、見通しと達成状況がより理解しやすいと考える。

今回の単元では、自分のヒーローを発表する活動がゴールとなるが、自分のヒーローについては様々な人物が予想されるため、その人物を紹介する際の表現もまた多様となると考えられる。児童の「伝えたい」という本物の意欲を大切にするため、事前アンケートで実態を把握し、既習表現の中から子供たち同士で言い方を考えさせたり、より紹介したい内容となるようフレーズの順番を整理したり、様々な方法で寄り添ったりすることで、児童の「伝えたい」という思いを実現できるようにする。

(4) 単元の目標

- ・中学生に自分のヒーローについて伝えるために、内容を整理した上で話すことができる。また、大文字と小文字のルールを理解し、大文字ではじまる単語を書き写すことができる。

## (5) 関係する領域別目標

話すこと 〔発表〕	イ 自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
書くこと	ア 大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。

## (6) 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと 〔発表〕	〔知識〕 “He/She can～.” “He/She is good at～.” など、第三者ができることや得意なことを表す表現を理解している。 〔技能〕 “He/She can～.” “He/She is good at～.” など、第三者ができることや得意なことを表す表現などを用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて話す技能を身に付けている。	相手に自分や第三者のことをよく知ってもらうために、第三者ができることや得意なことなどについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話している。	相手に自分や第三者のことをよく知ってもらうために、第三者ができることや得意なことなどについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。
書くこと	〔知識〕 大文字とそれに対応する小文字を理解するとともに、大文字で書き始める際のルールを理解している。 〔技能〕 状況に応じて大文字、小文字を使い分けて書くことに関して、書く技能を身に付けている。	大文字で始まる単語について、カテゴリーに注目しながら適切な単語を発見して書いている。	本単元の評価規準は、「大文字で始まる単語について、カテゴリーに注目しながら適切な単語を発見して書こうとしている。」となるが、次単元と合わせて、記録に残す評価を行う。

## 3 指導計画（6時間扱い 本時4／6）

時	目標（◇）と主な活動○ <u>身に付けさせたい表現</u>	◎評価〈方法〉
1	◇中学生のヒーローについての話を聞いて、おおよその内容を理解できる。 ○中学生にとってのヒーローは誰かを聞く。 ○Chant を聞き、歌ってみる。 ○出席番号で「he/she チェーンゲーム」をする。 ○キーセンテンスを確認する。 ○振り返りをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">He/She is ～. , He/She can/can't ～. , He/She is good at ～. , He/She is my hero ～. , 動作(run,kick,see)</div>	本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。

2	<p>◇和矢のヒーローについての話を聞いて、おおよその内容を理解するとともに、「できること」を表す表現に慣れ親しむ。</p> <p>○Chant を聞き、歌ってみる。</p> <p>○気持ちを表す言葉で「he/she チェーンゲーム」をする。</p> <p>○和矢のヒーローについての話を聞く。</p> <p>○Mr.BLACK の写真や映像を見て、気付いたことを話し合う。</p> <p>○和矢の話をもう一度聞いて、キーワードゲームを行う。</p> <p>○友達ができることを他の人に紹介する。</p> <p>○キーセンテンスを確認する。</p> <p>○振り返りをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>a yo-yo / a performer , What's that? Is he your hero?, Yes,he is., He is a wonderful yo-yo-performer.</p> </div>	<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。</p>
3	<p>◇ハンナのヒーローについての話を聞いて、おおよその内容を理解する。</p> <p>○Chant を聞き、歌ってみる。</p> <p>○得意なスポーツで「he/she チェーンゲーム」をする。</p> <p>○ハンナのヒーローについての話を聞く。</p> <p>○ハンナの話をもう一度聞いて、キーワードゲームを行う。</p> <p>○今まで聞いた話を最初から聞き、それぞれのヒーローについて確認する。自分が紹介したい人を考える。</p> <p>○キーセンテンスを確認する。</p> <p>○振り返りをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>Who is your hero? , She can dance very well. , I like my sister very much. , Mr.Kawamura is a good soccer player!</p> </div>	<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。</p>
4 本時	<p>◇言葉をつけ足したり、順番を整理したりしながら、スピーチを完成させることができる。</p> <p>○Chant を聞き、歌ってみる。</p> <p>○ヒーロー紹介を聞いて、話していた内容に○をつける。</p> <p>○ヒーローを紹介する文を読んで、自分が発表するためのメモやポスターを作る。</p> <p>○ペアやグループでリハーサルをする。</p> <p>○振り返りをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>This is Hirano Miu. , She is a table tennis player., She is good at table tennis. , She is my hero.</p> </div>	<p>話すこと（発表）の記録に残す評価</p> <p>◎相手に自分や第三者のことをよく知ってもらうために、第三者ができることや得意なことなどについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話している。</p> <p>◎相手に自分や第三者のことをよく知ってもらうために、第三者ができることや得意なことなどについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。</p> <p>◎第三者ができることや得意なことを表す表現を用いて伝え合っている。 〈行動観察・ビデオ・振り返りファイル〉</p>
5	<p>◇自分のヒーローについて発表する。</p> <p>○Chant を聞き、歌ってみる。</p> <p>○自分にとってのヒーローについての発表会をする。</p> <p>○振り返りをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>He/She is ~. , He/She can ~. , be good at ~.</p> </div>	<p>書くことの記録に残す評価</p> <p>◎大文字で始まる単語について、カテゴリーに注目しながら適切な単語を発見して書いている。 〈行動観察・テキスト〉</p> <p>◎大文字で書き始める単語についてのルールのもと、大文字と小文字を使い分けて書いている。 〈テキスト・振り返りファイル〉</p>
6	<p>◇大文字と、それに対する小文字を正しく認識できる。</p> <p>また、大文字で書き始める単語についてのルールを知る。</p> <p>○Let's Sing</p> <p>○対応する大文字と小文字を線で結ぶ。</p> <p>○大文字で始まる単語を書く。</p> <p>○ポスターに、前時に自分が発表した内容を書く。</p> <p>○単元の振り返りをする。</p>	<p>書くことの記録に残す評価</p> <p>◎大文字で始まる単語について、カテゴリーに注目しながら適切な単語を発見して書いている。 〈行動観察・テキスト〉</p> <p>◎大文字で書き始める単語についてのルールのもと、大文字と小文字を使い分けて書いている。 〈テキスト・振り返りファイル〉</p>

4 本時の指導

(1) 目標

- ・言葉をつけ足したり，順番を整理したりしながら，スピーチを完成させることができる。

(2) 展開

時間・過程	○児童の活動 ・内容	・指導者の活動及び指導上の留意点 ◎評価規準〈評価方法〉☆よりよいポイント
見 通 す 2 分	○あいさつ ○学習計画の確認をする。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <b>Final Goal 中学生に向け、自分の『あこがれの人』を発表しよう</b> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <b>Today's Goal 発表に向け、自分のスピーチを完成させよう</b> </div>
学 ぶ 38 分	<p>○Let's Chant</p> <p>○Let's Read and Write①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作成したポスターを用いてリハーサルをする。</li> <li>・中間振り返り1を行う。</li> </ul> <p>○Let's Read and Write②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・質問を交えたり，言いたいことを確かめたりして文章を付け足していく。</li> <li>・中間振り返り2を行う。</li> <li>・ペアを変えて，再度リハーサルをする。</li> <li>・参観者への発表を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音声を聞きながら繰り返すことで，前時の活動を思い出させる。</li> <li>・作成したポスターをもとに，児童同士で交流させる。</li> <li>・発表する側のポイント（smile, eye contact 等）を意識させる。</li> <li>☆中間振り返り1では，担任とJTEが模範を見せ，聞き手にとって情報が不十分であることに気付かせる。</li> <li>☆自分が付け足すことができそうなフレーズを探させるために，中学生のスピーチを映像で見せる。</li> <li>・言いたいことをどのような英語で表現すればよいか，既習をもとにグループで考えさせる。</li> <li>☆担任とJTEで巡回をし，児童が分からない（言いたい）フレーズに答えていくようにする。</li> <li>・早く終わった児童には，順番を並び替える工夫もあることを伝える。</li> <li>・中間振り返り2で，児童が分からない言葉やこの時間で分かった言葉などを共有する時間とする。</li> <li>◎相手に自分や第三者のことをよく知ってもらうために，第三者ができることや得意なことなどについて，自分の考えや気持ちなどを含めて話している。</li> <li>◎相手に自分や第三者のことをよく知ってもらうために，第三者ができることや得意なことなどについて，自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。</li> <li>◎第三者ができることや得意なことを表す表現を用いて話している。</li> </ul> <p style="text-align: right;">〈行動観察・ビデオ・振り返りファイル〉</p>
振 り 返 る 5 分	○Reflection	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習活動のポイントを押さえ，振り返りファイルに書く内容をイメージしやすくする。</li> <li>・振り返りファイルに振り返りを書く。</li> <li>・振り返りを発表する。</li> </ul>